

2050年カーボンニュートラル実現に向けた新たな県民運動の展開について（素案）



1. 背景・経緯

- 「2030年度までに温室効果ガス排出量26%削減（2013年度比）」という目標に向けて、平成29年5月、県内全市町との共同宣言を実施し、とちぎ発の「COOL CHOICEとちぎ」県民運動を展開してきた
- 2050年カーボンニュートラル実現に向け、**削減目標の大幅な引き上げ（26%→50%）**、県民の責務や行動指針等を示した「**栃木県カーボンニュートラル実現条例**」の施行、国における「**脱炭素につながる新しい豊かな暮らしを創る国民運動**」（デコ活）の開始等を踏まえ、取組を強化することとした
- 今後は、これまでの共同宣言の基本理念を継承するとともに、デコ活の趣旨も踏まえた**新たな県民運動を展開し、県民の行動変容を強く後押し**していく

「全市町との共同宣言」▼



「COOL CHOICE とちぎ」共同宣言▶

「COOL CHOICE とちぎ」
共同宣言

私たちは、「2030年度までに温室効果ガス排出量26%削減（2013年度比）」という目標達成のため、国民運動「COOL CHOICE（=賢い選択）」に賛同し、オールとちぎ体制で地球温暖化対策を推進します。

このとちぎ発の取組を、「COOL CHOICE とちぎ」県民運動として積極的に展開し、温室効果ガス排出量を着実に削減させるとともに、とちぎの豊かな環境と安心して暮らせる社会を次の世代に引き継いでいきます。

平成29年5月22日

栃木県
宇都宮市 足利市 栃木市 佐野市 鹿沼市
日光市 小山市 真岡市 大田原市 矢板市
那須塩原市 さくら市 那須烏山市 下野市 上三川町
益子町 茂木町 市貝町 芳賀町 壬生町
野木町 塩谷町 高根沢町 那須町 那須川町

※「COOL CHOICE」は、温室効果ガス排出量削減の目標達成のため、身近な生活の中で、本来のために、省エネ・低炭素生活の推進、「COOL CHOICE」をキーワードとして、行動の場から、地域社会に波及する人々の「賢い選択」を国民一人ひとりに促す取組。

2. 新たな県民運動の基本理念等

（1）基本理念 ※共同宣言の基本理念を継承

- 2050年までのカーボンニュートラル実現に向けてオールとちぎで地球温暖化対策に取り組むことにより、**とちぎの豊かな環境と安心して暮らせる社会を次の世代に引き継ぐ**

（2）運動の目的

- 脱炭素の行動が、豊かで快適・健康な新しい暮らしにつながるビジョンを共有することで、**県民の行動変容を強く後押し、目標の達成につなげていく**

（3）運動の方向性

- 県民の行動変容を後押しするため、**行動するメリット・意義を明確**にするとともに、**行動変容の阻害要因（金銭・時間・手間等）を一つひとつ解消**していくことを目指し、企業等を巻き込みながら新たな運動を展開する

3. 新たな県民運動の具体的な展開

- これまで低炭素・省エネを中心に県民に促してきた行動「15のこと」を刷新し、**脱炭素を軸として、取り組みやすさや波及性なども考慮しながら「新15のこと」を選定**していく
- 今後、「新15のこと」を活用し、脱炭素行動の**メリットをわかりやすく、取組のターゲット・場面毎に効果的に情報を発信**することで県民の行動変容を促していく

4. 「新15のこと」(案)

〈選定の考え方〉

- 1 脱炭素で、かつ豊かな暮らしにつながる取組を選定
- 2 県民一人ひとりに自分事として捉えてもらうため、あらゆる世代が実践しやすい取組も選定
- 3 県民の行動変容が、家庭分野以外への削減に波及するような取組を選定
- 4 取組の場面（衣・食・買・住・移動）や、家庭における温室効果ガスの排出源を踏まえてバランス良く選定
- 5 本県の地域特性や、栃木県カーボンニュートラル実現条例の内容等を踏まえて選定

※ 以下、**赤字下線**は新規の取組（①③⑥⑨⑩⑪⑭⑮）

今日かためてね	①自分が出しているCO2の確認	②今すぐできる省エネの実践	③食品ロスの削減	④プラスチックゴミの削減	⑤公共交通機関等の利用
	自分が出しているCO2を計算することで、省エネ・節約の効果や環境負荷の大きさに気づこう。 【住・移動】	服装の工夫など、ちょっとしたことから省エネを実践し、快適な生活・節約を楽しもう。 【衣・食・買・住・移動】	生産から廃棄までのCO2や手間、ムダな支出を減らそう。 【食・買】	廃棄時等のCO2やプラごみによる海洋汚染を減らそう。 【食・買】	移動に伴うCO2を減らすだけでなく、事故や渋滞のリスクを回避しよう。 【移動】
意識を高めて選択する	⑥環境にやさしい商品等の選択	⑦地産地消の選択	⑧省エネ家電等の選択	⑨web会議・テレワークの選択	⑩シェアリングサービスの選択
	企業等の取組を応援することで、社会全体でのカーボンニュートラルに貢献しよう。 【衣・食・買】	輸送に伴うCO2を減らすだけでなく、新鮮な食材等を楽しみながら地域経済にも貢献しよう。 【食・買・住】	長時間使用する照明、冷蔵庫、エアコンなどは省エネタイプを選択し、CO2も電気代も減らそう。 【住】	出張等の移動に伴うCO2を減らし、時間も有効に活用しよう。 【移動】	大量廃棄時のCO2を減らし、社会全体でのカーボンニュートラルに貢献しよう。 【衣・買・移動】
機会を捉えて未来に投資	⑪省エネ給湯器の設置	⑫住宅の高断熱化	⑬太陽光発電の設置	⑭電動車の選択	⑮エネルギーの効率的な利用
	未利用熱を活用してお湯を沸かし、CO2や光熱費を減らそう。給湯タンクがあれば災害時もお湯が使えて安心。 【住】	冷暖房効果を高めることで、CO2や電気代を減らそう。部屋間の寒暖差によるヒートショックも防げて安心。 【住】	自分が使う電気は自分で作り、火力発電の電気を使わないことでCO2を減らそう。難しい場合は、グリーン電力に切り替えを。 【住】	ハイブリッド車や電気自動車など、CO2の排出が少ない車を選択し、ガソリン代や給油の手間も減らそう。 【移動】	蓄電池や電気自動車から家庭に給電できる機器等を設置し、無駄がない、災害時も安心な生活にしよう。 【住】

注：右下の【】は取組の場面を示す。

5. 今後の予定

- R6.5 「新たな県民運動」名称公募・意見照会
- R6.8 カーボンニュートラル実現会議開催（内容報告）、「新たな県民運動」決定、キックオフイベント開催